



## 「北斎を魅了した天舞う瑞獣 ～龍・鳳凰～」 同時開催

### 特別企画 「北斎×伝統工芸 ～北斎に挑む現代の工芸作家たち～」

2026年1月24日（土） - 3月29日（日）

今年開館50周年を迎える北斎館では、企画展「北斎を魅了した天舞う瑞獣 ～龍・鳳凰～」を3月29日（日）まで開催しています。瑞獣とは、めでたいことの兆しとして現れるとされる特別な動物。北斎が描く壮大な龍、鳳凰の世界をお楽しみいただける本展に合わせて、特別企画展示「北斎×伝統工芸 ～北斎に挑む現代の工芸作家たち～」を同時開催しています。

日本の伝統工芸界を担う作家たちが、北斎の傑作と向き合い新たな解釈で斬新な“工芸品アート”を生み出します。和更紗職人の中野史朗氏、京焼職人の野原美恵氏、漆芸作家の島本恵未氏による、斬新かつ繊細な工芸品の域を超えたアート作品の世界をぜひご堪能ください。

## | 北齋×現代作家のコラボレーション企画 |

今年開館50周年を迎える北齋館では、新しいものが生まれる美術館を目指し、新たな試みとして、北齋と現代アーティストのコラボレーションを行っています。

第1弾として、2024年1月から3月には、葛飾北齋の描くさまざまな「勝負」のシーンを集めた企画展「いざ、勝負！」開催期間中に「北齋×現代アーティスト企画」を展示しました。4名の現代アーティスト一人一人が北齋作品と向かい合い、そこから生まれた感情や感じ取ったインスピレーションをもとに制作したもので、大好評を博しました。

(参加アーティスト：江藤雄造／梶原大敬／給田麻那美／富田直樹)



「北齋×現代のアーティスト」企画 展示販売作品

## ｜ 展示作品紹介 ｜

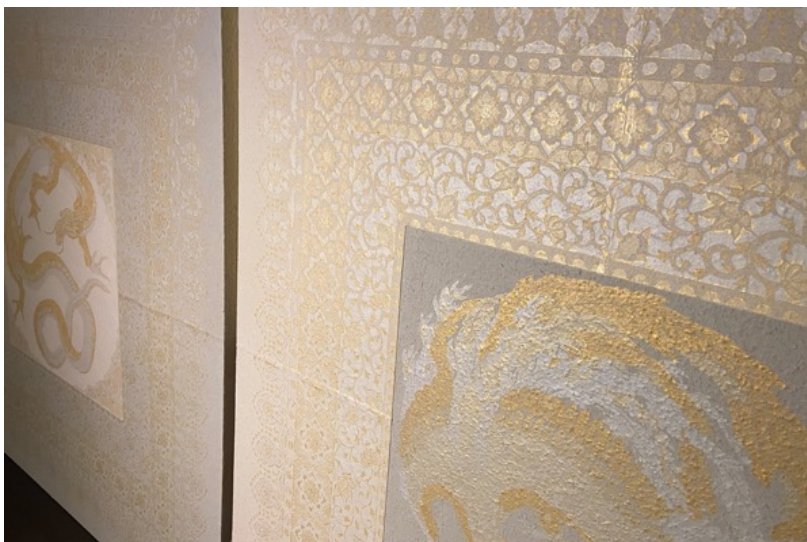
今回の北斎×現代作家のコラボレーション企画第2弾「北斎×伝統工芸～北斎に挑む現代の工芸作家たち～」では、3名の伝統工芸作家、和更紗職人の中野史朗氏、京焼職人の野原美恵氏、そして漆芸作家の島本恵未氏の手によって、北斎館所蔵、常設展示の東町祭屋台天井絵「龍」「鳳凰」をテーマに生み出された作品を特別展示いたします。

### ○中野史朗氏作「金雲母鳳凰更紗」・「金雲母龍更紗」

中野史朗氏は、能登の珪藻土を漉き込んだ和紙の上に、金や雲母を用いた美しく細かい更紗模様とともに、龍、鳳凰を表現しています。



中野史朗「金雲母鳳凰更紗」・「金雲母龍更紗」



中野史朗「金雲母鳳凰更紗」・「金雲母龍更紗」

## | 展示作品紹介 |

### ○野原美恵氏作「北斎 to 食べる」・「北斎 to 一服」ほか

京焼職人の野原美恵氏は、大胆さを試みた造形の中に、北斎が得意とした極彩色を配色し、瑞獣の神々しさを立体的に表わしました。



野原美恵「北斎 to 食べる」



野原美恵「北斎 to 一服」

### ○島本恵未氏作「龍蛋」

漆芸作家の島本恵未は、「龍」からインスピレーションを受け、独自のアイデアと繊細な技法によって、龍の卵をイメージした螺鈿作品を仕上げました。



島本恵未「龍蛋」



島本恵未「龍蛋」

| 開催概要 |

展覧会名：「北斎を魅了した天舞う瑞獣 ～龍・鳳凰～」同時開催  
「北斎×伝統工芸 ～北斎に挑む現代の工芸作家たち～」

会 期：2026年1月24日（土） - 3月29日（日）

会 場：北斎館（長野県上高井郡小布施町小布施485）

入館料：大人1200円／高校生・大学生500円／小中学生300円

※本展、特別企画展示、常設展示（祭屋台展示室）を合わせてご覧いただけます。

開館時間：9時～17時（最終入館16時半）

休館日：会期中無休

| 関連イベント |

○作家によるトークショー

開催日時：2026年1月31日（土）14時より

制作の裏側や北斎作品への想いについて職人自らが語ります。

トークショーご参加の方は無料でご入館いただけます。

※入館の際はトークショー特設受付にてお手続きが必要となります。



お問い合わせ先

一般財団法人 北斎館（広報：飯塚）

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町大字小布施485

Tel: 026-247-5206 Fax: 026-247-6188 Mail: pr@hokusai-kan.com

